

令和2年度福島県環境アドバイザープロフィール

[地球環境]

渡邊 明 わたなべ あきら

●専門分野:地球物理学 ●主な講演内容:地球温暖化、気候変動、異常気象

昭和23年生まれ。東京都立大学大学院理学研究科修了。

福島大学名誉教授。福島市在住。

世界気候研究計画のプロジェクトなどに参加し、アジア地区の気象観測などを担当しながら降水システムなどについて研究してきた。現在、豪雨、豪雪、突風などの研究を行い、温暖化の実態や異常気象のメカニズムについて研究している。2100年までの福島県の気候予測・評価を行った。

長橋 良隆 ながはし よしたか

●専門分野:地質学 ●主な講演内容:火山噴火、破局噴火、火山災害、低地や湖の地質と古環境

昭和41年生まれ。大阪市立大学理学研究科地質学専攻修了。福島大学理工学群共生システム理工学類教授。福島市在住。

過去700万年間の爆発的火山噴火史の解明とそれに基づく将来予測のため、九州から東北の火山地域、琵琶湖・野尻湖・猪苗代湖の堆積物、南海トラフと日本海溝の堆積物を対象に、主にテフラ(火山灰)層に関する研究を行っている。猪苗代湖の堆積物から読み解く形成史と古環境変遷史についても研究中である。

[エネルギー]

服部 靖弘 はっとり やすひろ

●専門分野:再生可能エネルギー全般 ●主な講演内容:福島県の再生可能エネルギーの状況について

平成20年6月 北芝電機(株)社長。平成24年7月 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会会長。平成29年4月 「エネルギー・エージェンシーふくしま」代表。

「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指す福島県で、関連産業集積に向けた産業界のネットワーク作りや産学連携活動の旗振役を務めている。

柿崎 隆夫 かきざき たかお

●専門分野:機械システムの設計、再生可能エネルギー利用システム、モデリング、ダイナミクスシステム及びエネルギーに関するサステナビリティ、ロボティクス及びヒューマンインターフェース

●主な講演内容:再生可能エネルギー利用システム、サステナブルな機械システムデザイン

東北大学大学院工学部工学研究科博士課程前期修了。日本大学工学部機械工学科教授平成31年3月退職。産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 FREA 外部研究員。博士(工学)。日本機械学会フェロー。

教育及び研究業務とともに、文科省「地域イノベーション戦略推進プログラム(復興)」日本大学工学部テーマリーダー、同「平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 福島県発の災害に強く自立共生が

可能な住環境の創成に関する研究」プロジェクトサブリーダー、(独)NEDO 技術開発機構「一般住宅向け浅部地中熱利用システムの低価格化・高効率化の研究」プログラム研究代表者等を担当している。

[環境マネジメント]

後藤 忍 ごとうしのぶ

●専門分野:環境計画 ●主な講演内容:人と自然の共生を目的とした空間計画(エコロジカル・ネットワーク)、循環型社会の捉え方、総合的環境指標の開発、環境教育の役割と実践、環境メディアの特性等

昭和 47 年大分県生まれ。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻修了(博士(工学))。福島大学理工学群共生システム理工学類准教授。福島市在住。福島県環境審議会委員(2004～2014年)。環境省容器包装廃棄物排出抑制推進員(3R 推進マイスター)。福島市環境審議会委員。ふくしま環境基本計画推進協議会会長。福島市環境教育事業「ふくしまエコ探検隊」講師。ビオトープ計画管理士など。

物事のつながりを重視して総合的に捉えるシステム思考に基づいて環境問題を把握し、解決のための様々な手段を組織的に配列して、人間と環境へ能動的に働きかける環境計画のアプローチを研究している。3.11 後は、同僚とともに「放射線と被ばくの問題を考えるための副読本」を作成した。

片平 大造 かたひら だいぞう

●専門分野:地球環境・環境マネジメント ●主な講演内容:地球温暖化対策・環境マネジメント等

昭和 24 年生まれ。福島市在住。エネルギー管理士、ビル省エネ診断技術者、ビル省エネエキスパート、環境計量士、公害防止管理者、産業廃棄物技術管理士、省エネルギー普及指導員、ほめ達認定講師、コミュニケーション能力1級等多数の資格を有し、エコアクション 21 認証取得等のコンサルタント・審査を多数行っている。

河合 直樹 かわい なおき

●専門分野:環境調査・化学物質管理・環境マネジメントシステム・作業環境改善 ●主な講演内容:環境全般

昭和 30 年生まれ。山形県山形市在住。河合環境コンサルタント事務所所長。化学物質アドバイザー、技術士(環境部門)、環境計量士、環境カウンセラー、エコアクション21審査員、エネルギー管理士。

中央大学理工学部工業化学科卒、民間環境測定分析機関勤務を経て現職。

創意工夫をしながら、「分かりやすい」「退屈しない」プレゼンテーションを目指すことをモットーに、事業所や学校等で幅広く講演活動を行っている。

渡邊 邦雄 わたなべ くにお

●専門分野:環境マネジメント、環境対策 ●主な講演内容:ISO関連、地球環境問題等

昭和 37 年生まれ。郡山市在住。福島大学行政社会学部行政学科卒。LRQAに勤務。

ISO審査員、エコアクション 21 審査人、環境カウンセラー、エネルギー管理士、作業環境測定士、公害防止管理者、心理相談員、他多数の資格を所有。

前職では、ISO認証取得のための事務局や管理責任者を担い、省エネルギー、大気、排水、騒音・振

動、産廃物、悪臭、土壌等の幅広い環境問題を解決してきた。

現在は ISO 認証機関 LRQA (ロイドレジスタークオリティーアシュアランスリミテッド) にて ISO9001・14001・OHSAS18001 の審査、講師を担当。その他郡山労働基準協会、ボイラー協会福島支部、福島産業保健総合支援センター日本規格協会にて講義を担当。

[水環境]

中村 玄正 なかむら みちまさ

●専門分野:環境工学、衛生工学 ●主な講演内容:水質保全、猪苗代湖の課題等

昭和 16 年生まれ。東北大学大学院工学研究科博士課程科目修了(退学)。郡山市在住。日本大学名誉教授。NPO 法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議理事長。

猪苗代湖や阿武隈川、三春ダム等の水質汚濁防止についての研究や、自然浄化作用について調査研究を行っている。また、水環境と有機物循環、水系における窒素、リンの課題等についても研究を進めている。環境教育のために豆腐や枯死水草、枯れ葉等を利用して水質汚濁現象や富栄養化現象について説明するとともに、水質汚濁防止や富栄養化防止対策についても提案している。

塘 忠顕 つつみ ただあき

●専門分野:昆虫学 ●主な講演内容:水生生物、水環境保全、昆虫

昭和 42 年生まれ。筑波大学大学院生物科学研究科生物学専攻修了。福島大学理工学群共生システム理工学類教授。福島市在住。

河川及びその周辺の自然環境のあり方を考えるための基礎資料蓄積のため、河川に生息する底生動物相の調査を県内各地で実施。地域などでの水環境保全活動の支援を行っている。

橋本 孝一 はしもと こういち

●専門分野:衛生工学 ●主な講演内容:河川環境、上下水道等

昭和 18 年生まれ。東北大学大学院工学研究科修士課程修了。いわき市在住。福島工業高等専門学校名誉教授。NPO 法人いわき環境研究室理事長。

都市河川の汚濁物質の挙動解析や「親水性」のある河川空間の創造等に関する研究等を行っている。また、「NPO 法人いわき環境研究室」の活動をとおして、地域における環境保全活動を積極的に支援するとともに、「夏井川流域住民による川づくり連絡会」の代表世話人として夏井川水系水環境の再生に尽力している。平成 6 年度に「水環境賞」(環境庁水質保全局長表彰)、令和元年度に河川功労者表彰(公益社団法人日本河川協会)を受賞した。

藤田 豊 ふじた ゆたか

●専門分野:環境水理学 ●主な研究:・猪苗代湖の自然浄化機構・猪苗代湖の水温成層の変化と物質輸送・水草枯死後の水質に及ぼす影響・長瀬川河口周辺の地形変化・猪苗代湖における漂着廃棄物

●主な講演内容:猪苗代湖に関する話題(水質, 流動, 水環境)・川のはなし(治水, 利水, 環境)・廃棄物

のはなし(マイクロプラスチック)

経歴:昭和24年新潟県新津市(現在新潟市)出生。昭和49年3月日本大学大学院工学研究科修士課程修了。同年日本大学工学部土木工学科助手・専任講師・助教授・准教授・教授、平成27年3月定年退職。平成27年4月～令和2年3月日本大学工学部研究員(上席研究員)。平成20年学位取得、博士(工学)。

海外派遣:多自然型川づくり調査のため欧州諸国を歴訪(平成5年)。

社会活動:NPO輝く猪苗代湖をつくる県民会議理事(平成28年6月～)、地球にやさしい”ふくしま”県民会議県中地方会議代表(平成28年度～)、県中都市計画事業審議会委員など。

著書(分担執筆):水理学(理工図書)、日本の水環境2東北編(技報堂出版)、日本の河口(古今書院)、ACF福島学シリーズ②福島の水(歴史春秋出版)

[水資源]

柴崎 直明 しばさき なおあき

●専門分野:地下水盆管理学、水文地質学、応用地質学 ●主な講演内容:地下水盆の構造と地下水の流動、地下水の保全と有効活用

昭和35年生まれ。信州大学理学部地質学科卒業。国際航業株式会社・地質調査事業部、インド国立地球物理学研究所・客員研究員、国際航業株式会社海外事業部勤務を経て、平成16年福島大学理工学群共生システム理工学類教授へ。

地下水盆の構造と地下水の流動を明らかにし、地下水の保全と有効活用をめざす研究に取り組んでいる。

川越 清樹 かわごえ せいき

●専門分野:河川工学、水文学、自然災害科学 ●主な講演内容:気候変動による水災害・水資源への影響、豪雨・雪氷融解に伴う災害発生機構と水環境変化等

昭和45年生まれ。東北大学大学院環境科学研究科博士課程修了。福島大学理工学群共生システム理工学類教授。

国内外を対象に気候変動による水災害・水資源の影響、評価研究に取り組んでいる。また、この研究に関連し、豪雨、雪氷融解に伴う災害発生機構と水環境変化、および適応策の検討をグローバル及びリージョナルのスケールで展開している。

[大気環境]

渡邊 明 わたなべ あきら

●専門分野:地球物理学 ●主な講演内容:地球温暖化、気候変動、異常気象プロフィールは、〔地球環境〕記載のとおり。

佐藤 光 さとう ひかる

●専門分野: 星空観察 ●主な講演内容: 星空観察

昭和 26 年生まれ。福島市在住。福島天文同好会会長。

学校や公民館等での星座教室の講師を務める。福島市で平成元年よりスターウォッチングの観測・指導を行う。星座や天体観測(彗星など)に造詣が深く、福島市近辺で「天の川の見える場所」の調査や昔観られた天文現象の調査研究を行っている。

桂 伸夫 かつら のぶお

●専門分野: 星空観察 ●主な講演内容: 星空観察

昭和 25 年生まれ。いわき市在住。いわき天文同好会会長。

昭和 50 年のいわき市文化センターの開館に合わせて、いわき天文同好会を結成し、学校や地域団体からの依頼による天文観察指導や、天体観測をとおして、地域における社会教育活動を行っている。また、夏、冬のスターウォッチングの観測で、大気汚染、光害(こうがい)の環境に対する影響の啓発活動も行っている。

平成 27 年 9 月 12 日に福島市で開催された第 27 回「星空の街・あおぞらの街」全国大会にて環境大臣賞(個人部門)を受賞。

[自 然]

弦間 一郎 げんま いちろう

●専門分野: 野鳥観察、森林環境教育、里山保全 ●主な講演内容: 野鳥の保護と観察、里山の保全

昭和 31 年生まれ。福島市在住。元福島市小鳥の森チーフレンジャー、元(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団常務理事。

野鳥の観察や野外での自然観察の方法、また、生物と自然保護に造詣が深い。

星 一彰 ほし かずあき

●専門分野: 自然観察 ●主な講演内容: 自然保護

昭和 8 年生まれ。福島市在住。東京教育大学(現筑波大学)卒業。元県立高等学校教諭、福島県自然保護協会会長、福島県自然保護観察指導員連絡会代表、尾瀬保護財団評議員。

尾瀬や裏磐梯の自然環境を調査研究し、環境教育や環境学習の指導・助言に当たっている。特に、環境の状況を生物の状態や変化をとおして観察し、汚染物質による生物への影響や動植物の生活環境の多様性に関して造詣が深い。

齋藤 忠雄 さいとう ただお

●専門分野: 昆虫観察、自然観察 ●主な講演内容: 昆虫観察、自然観察

昭和 27 年生まれ。福島虫の会事務局長、日本鱗翅学会自然保護委員、河川水辺の国勢調査アドバイザー、ビオラ押し花&昆虫館館長。

ビオラ押し花&昆虫館(福島市荒井アンナガーデン内)を開設。子供たちに昆虫をとおして自然に興味をもってもらうため、所蔵している昆虫を公開し昆虫や自然について説明している。福島県内の環境調査(動植物全般)を行った経験がある。

佐藤 公 さとう ひろし

●専門分野:火山防災、火山教育 ●主な講演内容:活火山の防災、火山のすばらしさと恐ろしさ、ジオパーク

昭和 31 年生まれ。郡山市在住。日本火山学会学校教育委員会委員。福島県火山防災協議会委員。磐梯山噴火記念館館長。

学校や公民館などで、火山についての講師を務める。磐梯山をフィールドとして、周辺での火山ジオツアーの案内なども行う。学校などでは、噴火の実験を取り入れ、楽しく火山を学ぶことができる。

鬼多見 賢 きたみ けん

●専門分野:猪苗代湖の自然、環境保全活動 ●主な講演内容:猪苗代湖の自然と環境等

国立磐梯青少年交流の家企画運営委員・泉崎村環境審議員、猪苗代湖観光推進委員理事、福島県教育委員会特別講師。NHK ふるさとリポーター、全日本スキー連盟指導員・公認パトロール、エコリーダー・川の案内人、環境アドバイザー、日本体育協会スポーツ指導員。

猪苗代湖の自然を守る会の代表を務めており、猪苗代湖の自然や環境に造詣が深く、「猪苗代湖ノ白鳥 2000」「猪苗代湖のアサザ・マリゴケ他」「猪苗代の自然と環境他」などの著書を出版している。

[ゴミ問題・リサイクル]

長澤 利枝 ながさわ としえ

●専門分野:一般廃棄物、環境教育 ●主な講演内容:ごみの減量とリサイクル・環境保全、省エネ、地球温暖化防止、災害被災地環境問題等。

昭和 17 年生まれ。南相馬市原町区在住。相双地方地域再生創造プロジェクト実行委員会、NPO法人福島環境カウンセラー協会特別顧問、うつくしま地球温暖化防止活動推進員。

ごみのリサイクルに関連した市民のネットワークづくりや実践活動を積極的に展開している。「東日本大震災」以後、被災地住民として津波・原発の現状と課題についての依頼が多い。震災復興再生の事業を実施している。

長澤 金一 ながさわ きんいち

●専門分野:廃棄物対策、水質保全対策 ●主な講演内容:廃棄物対策、水質保全対策など環境全般、放射線対策。

昭和 25 年生まれ。福島市在住。福島県庁水環境グループ参事、産業廃棄物課長、環境省大気環境課長補佐などを経験し、現在、水質調査や放射能計測などを行っている会社に勤務。技術士(環境部門)、環境計量士、土壌汚染調査技術管理者、第2種放射線取扱主任者の資格を有し、NPO 輝く猪苗代湖をつくる

県民会議副理事長としてボランティア活動にも従事。